

科目名	数学 A	学年	1 年 類: II 類	使用教材	【教科書】 新編数学 A 東書 数 A302
		単位数	単位 2		【副教材】 数研 3TRIAL I + A

○学習目標

- 場合の数と確率, 整数の性質または図形の性質について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 事象を数学的に考察する能力を養い, 数学よさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

○評価

- 定期考査 (中間・期末)
- 提出物 (学習プリント, ノートなど)
- 平常の学習状況 (授業に取り組む姿勢, 出席状況など)

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 場合の数と確率 1 節 集合と場合の数 2 節 確率とその基本 3 節 いろいろな確率	○和の法則, 積の法則を認識し, 順列・組合せの意味を理解し, 計算ができる。 ○試行と事象, 事象の確率について学び, 和事象・積事象, 排反事象, 確率の基本性質, 確率の加法定理, 和事象の確率, 余事象とその確率を求めることができる。 ○独立な試行の確率, 反復試行の確率を理解する。 ○条件つき確率と確率の乗法定理を理解する。
2	2 章 整数の性質 1 節 約数と倍数 2 節 ユークリッドの互除法と不定方程式 3 節 整数の性質の活用	○倍数の判定方法, 素数と合成数の違いから素因数分解についての理解を深める。 ○ユークリッドの互除法を理解し二つの整数の最大公約数を求められる。 ○不定方程式の解の意味について理解し, その解を求めることが出来る。 ○記数法の仕組みを見直し n 進法についての理解を深める。
3	3 章 図形の性質 1 節 三角形と比 2 節 円の性質 3 節 作図 4 節 空間図形	○三角形の内角の二等分線と比, 外角の二等分線と比, 重心・外心・内心, 外接円, 内接円, チェバの定理, メネラウスの定理を理解する。 ○円の基本性質を理解し, 直角三角形の内接円の半径を求め, 接線と弦のつくる角の定理の証明を考えることができる。 ○方べきの定理を理解する。 ○基本的な作図及び, 平行な直線や線分の内分点・外分点などの作図ができる。

科目名	数学 I	学年	1年 類: I・S	使用教材	【教科書】 数研 最新数学 I
		単位数	単位 3		【副教材】 数研 パラレルノート数学 I

○学習目標

数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
 事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評価

定期考査（中間・期末） 小テスト
 提出物（学習プリント，ノート等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1章 数と式 1節 数と式 2節 1次不等式 3節 集合と論証	式など，基本的な計算ができる。 自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を理解する。 平方根を含む式の計算ができる。 不等式の意味・性質を理解し，不等式を解くことができる。 命題の逆，裏，対偶を理解する。
2	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次方程式と2次不等式 4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比	2乗に比例する関数の性質を復習し，2次関数を理解する。 2次関数の最大・最小について理解を深める。また，与えられ条件から，その2次関数を決定できる。 2次方程式の解を求めることができる。 2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。 三角比としての正接，正弦，余弦の意味を理解する。
3	2節 三角比の拡張 3節 三角形への応用 5章 データの分析 1節 データの整理と分析 2節 データの相関	正弦定理・余弦定理を理解し，活用できる。 三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の計量に応用できる。 資料の特徴や傾向をとらえるために，データを整理するという概念を理解する。

科目名	数学 I	学年	1 年 類: II	使用教材	【教科書】 数研 新編数学 I
		単位数	単位 3		【副教材】 数研 3TRIAL I + A

○学習目標

数と式, 図形と計量, 2 次関数及びデータの分析について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

○評 価

定期考査 (中間・期末) 小テスト
 提出物 (学習プリント, ノート等) 平常の学習状況 (授業に取り組む姿勢, 出席状況等)

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1 章 数と式 1 節 式の計算 2 節 実数 3 節 1 次不等式 2 章 集合と論証 2 節 命題と論証	文字式の計算、一次・二次方程式、因数分解ができる。 式など、基本的な計算ができる。 自然数, 整数, 有理数, 無理数, 実数の意味を理解する。 平方根を含む式の計算ができる。 不等式の意味・性質を理解し, 不等式を解くことができる。 命題の逆, 裏, 対偶を理解する。
2	3 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ 2 節 2 次方程式と 2 次不等式	2 乗に比例する関数の性質を復習し, 2 次関数を理解する。 2 次関数の最大・最小について理解を深める。また, 与えられ条件から, その 2 次関数を決定できる。 2 次方程式の解を求めることができる。 2 次不等式を含む連立不等式を解くことができる。
3	4 章 図形と計量 1 節 鋭角の三角比 2 節 三角比の拡張 3 節 三角形への応用 5 章 データの分析 1 節 データの整理と分析 2 節 データの相関	三角比としての正接, 正弦, 余弦の意味を理解する。 正弦定理・余弦定理を理解し, 活用できる。 三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の計量に応用できる。 資料の特徴や傾向をとらえるために, データを整理するという概念を理解する。

科目名	数学 A	学年	2年 類： I S 類	使用教材	【教科書】 高校数学 A 実教 数 A306
		単位数	単位 2		【副教材】 実教 ステップノート数学 A

○学習目標

- 場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
- 事象を数学的に考察する能力を養い，数学よさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

○評価

- 定期考査（中間・期末）
- 提出物（学習プリント，ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1章 順列と組合せ 1節 集合 2節 順列 3節 組合せ 2章 確率 1節 確率とその基本性質	○和の法則，積の法則を認識し，順列・組合せの意味を理解し，計算ができる。 ○試行と事象，事象の確率について学び，和事象・積事象，排反事象，確率の基本性質，確率の加法定理，和事象の確率，余事象とその確率を求めることができる。 ○独立な試行の確率，反復試行の確率を理解する。 ○条件つき確率と確率の乗法定理を理解する。
2	3章 整数の性質 1節 整数の性質 2節 ユークリッドの互除法と不定方程式 3節 整数の性質の活用	○倍数の判定方法，素数と合成数の違いから素因数分解についての理解を深める。 ○ユークリッドの互除法を理解し二つの整数の最大公約数を求められる。 ○不定方程式の解の意味について理解し，その解を求めることができる。 ○記数法の仕組みを見直し n 進法についての理解を深める。
3	4章 図形の性質 1節 作図 2節 三角形の性質 3節 円の性質 4節 空間図形	○基本的な作図及び，平行な直線や線分の内分点・外分点などの作図ができる。 ○三角形の内角の二等分線と比，外角の二等分線と比，重心・外心・内心，外接円，内接円，チェバの定理，メネラウスの定理を理解する。 ○円の基本性質を理解し，直角三角形の内接円の半径を求め，接線と弦のつくる角の定理の証明を考えることができる。 ○方べきの定理を理解する。

科目名	数学Ⅱ	学年	2年 類：Ⅱ類 文系	使用教材	【教科書】 数研 新編数学Ⅱ
		単位数	単位4		【副教材】 数研 3TRIAL 数学Ⅱ

○学習目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1章 式と証明 1節 式と計算 2節 等式・不等式の証明 2章 高次方程式 1節 複素数と2次方程式の解 2節 高次方程式 3章 図形と方程式 1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解けるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。
2	3章 図形と方程式(続き) 2節 円 3節 軌跡と領域 4章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理 5章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3	6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 関数の値の変化 3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

科目名	数学Ⅱ	学年	2年 類：Ⅱ類 理系	使用教材	【教科書】 数研 新編数学Ⅱ
		単位数	単位4		【副教材】 数研 3TRIAL 数学Ⅱ+B

○学習目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識と技能の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1章 式と証明 1節 式と計算 2節 等式・不等式の証明 2章 高次方程式 1節 複素数と2次方程式の解 2節 高次方程式 3章 図形と方程式 1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解けるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。
2	3章 図形と方程式(続き) 2節 円 3節 軌跡と領域 4章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理 5章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3	6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 関数の値の変化 3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

科目名	数学Ⅱ	学年	2年 類: I・S	使用教材	【教科書】 実教出版 高校数学Ⅱ
		単位数	単位4		【副教材】 実教 ステップノート数学Ⅱ

○学習目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識の習得を図る。
事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

○評価

定期考査(中間・期末)
小テスト
提出物(学習プリント、課題等)
平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 2節 複素数と2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明 2章 図形と方程式 1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式の乗法・除法及び分数式の四則演算が理解できる。 ・ 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・ 方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解けるようにする。 ・ 因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・ 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識する。
2	2章 図形と方程式(続き) 2節 直線の方程式 3節 円の方程式 4節 不等式の表す領域 3章 いろいろな関数 1節 三角関数 2節 加法定理 3節 指数関数 4節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座標や式を用いて、円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・ 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・ 指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用 3節 積分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を理解するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

科目名	数学 B	学年	2年 類：Ⅱ類 文系	使用教材	【教科書】 数研 最新数学 B
		単位数	単位 2		【副教材】 数研 3ROUND 数学 B

○学習目標

ベクトル, 数列, 確率分布と統計的な推測について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート, ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢, 出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	平面ベクトル 空間ベクトル	ベクトルの基本的な概念について理解する。 ○平面上のベクトル ○ベクトルの応用 ○空間におけるベクトル
2	数列	簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。 ○数列 ○いろいろな数列 ○漸化式と数学的帰納法
3	確率分布と統計的な推測	確率についての基本的な内容を理解する ○確率分布 ○二項分布 ○統計的な推測

科目名	数学 B	学年	2年 類：Ⅱ類 理系	使用教材	【教科書】 数研 新編数学 B
		単位数	単位 3		【副教材】 数研 3TRIAL 数学Ⅱ+B

○学習目標

ベクトル, 数列, 確率分布と統計的な推測について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート, ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢, 出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	平面ベクトル 空間ベクトル 数列	○ベクトルの基本的な概念について理解する。 ・ 平面上のベクトル ・ ベクトルの応用 ・ 空間におけるベクトル ○簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。 ・ 数列
2	数列 確率分布と統計的な推測	○簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。 ・ いろいろな数列 ・ 漸化式と数学的帰納法 ○確率についての基本的な内容を理解する ・ 確率分布 ・ 二項分布 ・ 統計的な推測
3	総合的な内容	1・2 学期の内容をもとにして総合的な内容

科目名	数学B	学年	2年 類：I類 選択者	使用教材	【教科書】 数研 最新数学B
		単位数	単位2		【副教材】 数研 パラレルノート数学B

○学習目標

ベクトル, 数列, 確率分布と統計的な推測について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察表現する能力を養う。

○評価

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 提出物（学習ノート, ノートなど）
- 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢, 出席状況など）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	数列	簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解する。 ○数列 ○いろいろな数列 ○漸化式と数学的帰納法
2	平面ベクトル 空間ベクトル	ベクトルの基本的な概念について理解する。 ○平面上のベクトル ○ベクトルの応用 ○空間におけるベクトル
3	確率分布と統計的な推測	確率についての基本的な内容を理解する ○確率分布 ○二項分布 ○統計的な推測

科目名	数学演習	学年	3年 類: I・S	使用教材	【教科書】
		単位数	単位4		【副教材】 実教 グリーン版サブノート数学I 実教 グリーン版サブノート数学A

○学習目標

正確で迅速な計算力を身につける

○評価

定期考査（中間・期末） 小テスト 提出物（ワーク等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> ○式の計算 ○式の展開 ○因数分解 ○平方根 ○1次不等式 ○絶対値 ○集合，必要条件と十分条件 	正確で迅速な計算力を身につける
2	<ul style="list-style-type: none"> ○2次関数の平方完成，頂点，最大・最小，決定 ○2次方程式 ○2次不等式 ○連立2次不等式 ○三角比の値 ○等式を満たすθ ○三角比の相互関係 ○正弦定理・余弦定理 	正確で迅速な計算力を身につける
3	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形の面積 ○代表値 ○四分位数 ○分散・標準偏差 	正確で迅速な計算力を身につける

科目名	数学Ⅲ	学年	3年 類：Ⅱ(理系)	使用教材	【教科書】 東書 新編数学Ⅲ
		単位数	単位6		【副教材】 東書 ニューアシスト新編数学Ⅲ

○学習目標

平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識と技能の習得を図る。
 事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

○評価

定期考査(中間・期末)
 小テスト
 提出物(学習プリント、課題等)
 平常の学習状況

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1章 平面上の曲線 1節 2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標 2章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 複素数の応用 3章 関数と極限 1節 関数 2節 数列の極限 3節 関数の極限	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の曲線がいろいろな式で表されることを学び、事象の考察に活用できるようにする。 ・複素数平面について理解し、事象の考察に活用できるようにする。 ・数列や関数値の極限の概念を理解し、事象の考察に活用できるようにする。
2	4章 微分 1節 微分法 2節 いろいろな関数の導関数 5章 微分の応用 1節 接線, 関数の増減 2節 いろいろな微分の応用 6章 積分とその応用 1節 不定積分 2節 定積分 3節 定積分の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識して問題が解ける ・積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、問題が解ける。
3	総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した数学の内容を総復習し、入試に役立てる

科目名	数学演習	学年	3年 類：Ⅱ類 文系	使用教材	【教科書】
		単位数	単位4		【副教材】ウイ-1 入試準備基礎力完成数学ⅠAⅡB

○学習目標

正確で迅速な計算力を身につける

○評価

定期考査（中間・期末） 小テスト 提出物（ワーク等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算 ・ 式の展開 ・ 因数分解 ・ 平方根 ・ 1次不等式 ・ 絶対値 ・ 集合，必要条件と十分条件 ・ 順列と組み合わせ，確率 	正確で迅速な計算力を身につける
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数 ・ 三角比 ・ 図形の性質 ・ データの活用 ・ 整数の性質 ・ データの活用 	正確で迅速な計算力を身につける
3	・ 1・2学期の内容をもとにして総合的な内容	入試問題等を解けるよう正確で迅速な計算力を身につける

科目名	数学基礎演習	学年	2年 類：I類 選択者	使用教材	【教科書】
		単位数	単位2		【副教材】 (新課程)練習ドリル数I基本から標準

○学習目標

正確で迅速な計算力を身につける

○評価

定期考査（中間・期末） 小テスト 提出物（ワーク等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算 ・ 式の展開 ・ 因数分解 ・ 平方根 ・ 1次不等式 ・ 絶対値 ・ 集合，必要条件と十分条件 	正確で迅速な計算力を身につける
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数の平方完成，頂点，最大・最小，決定 ・ 2次方程式 ・ 2次不等式 ・ 連立2次不等式 ・ 三角比の値 ・ 等式を満たすθ ・ 三角比の相互関係 ・ 正弦定理・余弦定理 	正確で迅速な計算力を身につける
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の面積 ・ 代表値 ・ 四分位数 ・ 分散・標準偏差 	正確で迅速な計算力を身につける

科目名	数学演習	学年	3年 類：I類 選択者	使用教材	【教科書】
		単位数	単位2		【副教材】

○学習目標

正確で迅速な計算力を身につける

○評価

定期考査（中間・期末） 小テスト 提出物（ワーク等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算 ・ 式の展開 ・ 因数分解 ・ 平方根 ・ 1次不等式 ・ 絶対値 ・ 集合，必要条件と十分条件 ・ 順列と組み合わせ，確率 	正確で迅速な計算力を身につける
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数 ・ 三角比 ・ 図形の性質 ・ データの活用 ・ 整数の性質 ・ データの活用 	正確で迅速な計算力を身につける
3	・ 1・2学期の内容をもとにして総合的な内容	入試問題等を解けるよう正確で迅速な計算力を身につける

科目名	数学演習S類	学年	2年 類：I類 選択者	使用教材	【教科書】
		単位数	単位2		【副教材】 (新課程)練習ドリル数I基本から標準

○学習目標

正確で迅速な計算力を身につける

○評価

定期考査（中間・期末） 小テスト 提出物（ワーク等） 平常の学習状況（授業に取り組む姿勢，出席状況等）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算 ・ 式の展開 ・ 因数分解 ・ 平方根 ・ 1次不等式 ・ 絶対値 ・ 集合，必要条件と十分条件 	正確で迅速な計算力を身につける
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数の平方完成，頂点，最大・最小，決定 ・ 2次方程式 ・ 2次不等式 ・ 連立2次不等式 ・ 三角比の値 ・ 等式を満たすθ ・ 三角比の相互関係 ・ 正弦定理・余弦定理 	正確で迅速な計算力を身につける
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の面積 ・ 代表値 ・ 四分位数 ・ 分散・標準偏差 	正確で迅速な計算力を身につける